

大河内小だより



2025

<http://www.okawachisho.com>

令和7年3月21日

令和6年度卒業式～9人が巣立ちました～

3月18日（火）、令和6年度の大河内小学校卒業証書授与式が行われました。卒業生は授与の前に一人ひとりが、「自分の将来の夢」と「中学校でがんばりたいこと」を堂々と語り、立派な態度で証書を受け取り、とても感動的でした。

校長からの贈る言葉は、今年一年でしっかり成長し、学校のために頑張ってくれた卒業生へのねぎらいと、本校の校歌を作詞した故山本薫先生の娘である木村美幸氏（ペンネーム由美村嬉々さん）の著書「四角い空のむこうへ」の読み聞かせを行い、希望あふれるスタートを切った子どもたちへのメッセージとしました。



木村美幸さんについて・・・

木村美幸さんは、松阪市出身で、新聞記者、編集者を経て、アンパンマンで有名な（株）フレーベル館と金子みすゞの詩集で有名な（株）ジュウ出版局の取締役もされ、現在（一般社団法人）チャイルドロアクリエイトを立ち上げ、代表理事を務められている方です。全国各地に講演活動もされているとてもお忙しい方です。そんな方とご縁があるとは、本当にびっくりです。

今まで不明だった本校の校歌の作詞者・作曲者が64年ぶりに発見された新聞の記事を知り、木村美幸さんは、作詞者がお父様だったことが64年を経て公になったことをとても喜ばれ、本校に電話をかけてきてくれました。「亡き父の愛した大河内小学校とその子どもたちの力になれることがあるかもしれない」と、子どもたちの心を育てる仕事を続けてきたご自身の著書を数冊、本校に贈ってきてくださいました。

今回選んだ「四角い空のむこうへ」は、新たな世界に巣立つ卒業生に何か響いてくれるものがあることを願って、少し短くしながら読ませてもらいました。可能性が無限に広がっている子どもたちが、自分の好きなことを見つけ、夢中になって学んでいく。その道のりには紆余曲折があるかもしれないけれど、たくさんの支援者に出会い、人とつながって、いつか夢を叶える力になる、と私は思っています。

「雲外蒼天」＝「雲を突き抜けた先には青空が広がっている」

本に出てくる言葉です。「困難を乗り越えた先には、明るい未来が待っている」という意味です。卒業生に贈る言葉となりました。

卒業生たちには中学校生活を楽しみながら頑張っていてほしいと思います。また、4月から新しい制服を着た子どもたちの姿を引き続き見守っていただきますようお願いいたします。

卒業式の様子から・・・



木村さんの著書、他の本もとても素敵でした。紹介しますね。

木村美幸 ... ベンネーム・由美村嬉々 作家・編集者・コンサルタント・セミナー講師
 (一社)チャイルドドアクリエイト®代表理事。絵本カタリスト®・絵本学会会員・JPIIC読書アドバイザー。
 (株)フレイベル館、(株)ジュラ出版局の元取締役。
 著書に『バスが来ましたよ』『にじいろのペンダント』『ぼくはほんごつじほんき』『四角い空のむこうへ』『はんとらは、どうしたいの?』『100で夢を叶える』『絵本で実践! アニマシオン』(テキスト) など。

＜絵本＞

- 2022年6月 アリス館 (絵本夢野 絵)
- 2024年6月 佼成出版社 (絵本まもる 絵)
- 2024年9月 晶文社 (明原利門 絵)

＜評論＞

- 2022年2月 風鳴舎
- 2023年3月 風鳴舎

＜エッセイ＞

- 2022年7月 大月書店 (なかいかがり 絵)
- 2024年7月 講談社 (すみもとななみ 絵)
- 2024年11月あさ出版 (山本久美子 絵)

＜テキスト＞

- 2022年7月 晶文社
- 2023年9月 径書房
- 2024年1月北大路書房

